

関係者 各位

2010年6月28日(月)

株式会社キャリアデザインセンター

**リーマン・ショック後における企業の経営環境の変化に伴う、
働く個人の価値観の変化
【キャリアデザインレポート 2010 -25~34 歳、現役社員の意識調査-】**

株式会社キャリアデザインセンター(以下 CDC、本社:東京都港区、代表取締役社長兼会長:多田弘實)は、若手ビジネスパーソンを対象に仕事・転職・キャリア意識に関する調査を実施いたしましたので、お知らせいたします。



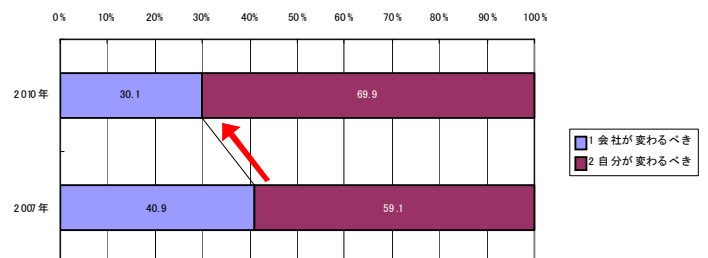
1. 今回の調査における社会的背景

2008年12月に実施した前回調査から、世界的な金融危機を経て企業業績は大幅に悪化し、日経平均株価は暴落するなど、日本経済は様変わりした。雇用情勢においては、コスト削減の一環として雇用調整を行わざるをえない企業が増加し、求人企業の採用意欲が大幅に減少したことから、過去最悪の有効求人倍率を記録することとなった。また、企業の大規模な構造改革、リストラクションが進み、ビジネスパーソンの生活に直結する大きな変化があった。

2. 2010年の全体傾向 ~仕事の充実のためには、会社よりも「自分が変わるべき」69.9%~

厳しい経済・社会状況を反映して、現在の職場に対する不満や不安は前回調査よりも高まっている。自分の生活維持を優先する傾向が強まる中、仕事をもっと充実させるために、まずは会社ではなく「自分が変わるべきである」と回答している人が増加しており、これはビジネス環境の激しい変化に対応するため、自らの仕事力を高めようとするビジネスパーソンの意識変化の表れだとも言える。例えば、グローバル化の潮流が自身のキャリアに影響すると考える人は65%以上にのぼり、仕事上の専門知識に加えて、論理的思考力や語学力が必要だと考える人が増加した。また、このような不況下でも、「主体的に仕事をしている」と感じている人ほど現在の会社に対するロイヤリティが高く、職場の満足度が高い傾向にあった。

Q19.仕事を今よりもっと充実させるには、会社と自分、まずどちらが変わるべきだと思いますか。



激変の時代、自らが変化することで仕事の質を高めようとする機運は確実に高まっており、そうした主体性は企業業績の回復にも貢献するはずだ。未曾有の危機を糧に、力強く生き抜こうとしているビジネスパーソンの姿が今回の調査結果から垣間見られた。

3. 会社の満足度 ～ソフト系エンジニアは不況の影響なし 前回とほぼ同割合～

長期化した不況の影響により、現在の会社に対する満足度は全体的に低下した。給与に対する不満を筆頭として、会社の方針や人事評価などに対する不満が増加しており、企業業績や経営状態が仕事上の不安要素になっていることが鮮明になった。

しかしながら、不況下においても業界が堅調で、かつ回復スピードも比較的早いIT業界のソフト系エンジニアは、市場価値が安定していることからか会社満足度が高く、また転職意欲も低いことが特徴的であった。

4. 仕事の目標・働く理由 ～収入・貯蓄よりも、人生経験・自分の成長が上昇 76.5%～

働く理由について生活維持や将来の貯蓄を挙げる人は依然多いが、生計・生活維持の割合は減少し、人生経験や自分の成長を挙げる人が増加した。給料アップやキャリアを磨くこと、人脈を作ることなどを仕事の目標に掲げる人が増え、この傾向は特に男性において顕著であった。また、男性においては会社や上司からの評価を大事にする傾向が強くなっている一方で、同僚や部下から信頼を得ようとする人が減少した。

これらの結果は、自分が変わるべきである、という考えの基に出てきた傾向とも言える。

5. 転職に対する意識 ～中小企業・若年層に広がる安定・大手志向～

この不況下において、特に会社に対する満足度が低下し、転職意欲が高まったのは、25～29歳の若手世代と、従業員規模100人未満の企業に勤務する人たちである。

25～29歳の世代は、入社後初めて経験する大不況を経て、仕事内容が合っていない、成長実感がないと感じる人が増え、外に対する憧れが強くなっているからであろう。一方の30～34歳は、社会人のスタートがITバブル崩壊前後の不況時であったためからか、今回の景気悪化の中においても、比較的意識変化が少なく、落ち着きが見られた。

また、従業員規模100人未満の企業に勤務する人においては、景気悪化を受けて収入面や人事評価、社内風土に対する不満が強かった。

そのような状況の中で、転職先を検討する基準は、給与や待遇よりも、一緒に働く人の魅力や社内の雰囲気を重ねる傾向が強くなっており、会社組織で働くことの希望が見える結果となった。

■ キャリアデザインレポート 概要 =====

【キャリアデザインレポート】は、キャリア転職サイト『@type』の運営をするCDCが、首都圏在住の現役会社員に対し、「若手ビジネスパーソンの仕事・転職・キャリアの意識」を経年的に把握する目的で調査を実施しているもので、今年で13回目となる。

【2010 調査概要】

調査目的	仕事・転職・キャリアについて、若手ビジネスパーソンの意識を探る
調査対象	25歳～34歳の男女(大卒以上・現職者)
調査地域	首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉・茨城の各都県在住者)
調査方法	インターネットリサーチ
調査時期	2010年4月9日(金)～2010年4月27日(火)
調査回答数	全体 532 (男性 285 /女性 247)

■ 株式会社キャリアデザインセンター 会社概要 =====

本社所在地 ■〒107-0052 東京都港区赤坂 3-21-20 赤坂ロングビーチビル

資本金 ■5 億 5866 万円

設 立 ■1993 年 7 月 8 日

従業員数 ■244 名 (2010 年 3 月 31 日現在)

代表者 ■代表取締役社長兼会長 多田 弘實

事業内容 ■①キャリア転職サイト『@type』、『女の転職@type』等の企画・運営

②キャリア転職情報誌『type』等の編集・発行

③人材紹介事業(厚生労働大臣許可 13-ユ-040429)

④適職フェアの開催

⑤一般労働者派遣事業(厚生労働大臣許可 般 13-304673)

など、企業の採用活動をサポートする総合的なソリューションサービスを提供しています。

■ 本件に関するお問い合わせ先 ■

株式会社キャリアデザインセンター 広報担当:西山 裕

E-mail:pr@type.jp Tel:03-3560-1601 Fax:03-3560-1605